

令和4年度 ASEAN向け省エネ研修（ECAP27オンラインワークショップ）を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和4年度のASEANに対する省エネ人材育成事業のAJEEP Scheme4 プログラムの第一弾として令和4年11月9日（水）～10日（木）の2日間、ASEAN10カ国政府の省エネ政策・制度関係者を対象に、エネルギー管理士制度・同研修プログラムに関するオンラインワークショップ（ECAP27）を開催しました。



1. 目的：今年度より新たに開始したAJEEP Scheme 4は、ASEANのCommon Standard Module（共通標準的研修プログラム）を策定し、SAEMAS（持続的ASEANエネルギー管理士認証システム）を構築する為の支援を実施するものです。今年度は、各国のエネルギー管理士制度・研修プログラムとAJEEP並びにAEMAS（ASEANエネルギー管理認証システム）での研修内容を比較検討してその報告書を作成すると共に、Common Standard Moduleの草案を作成する計画です。そのために、各国からこの制度に関係する2-3名の政策担当者や技術専門家を任命してワーキンググループ（WG）を作り、ワークショップ（WS）を数回開催する予定です。
2. セミナー出席者：参加者は、WGメンバーとしてASEAN各国から政策担当者を中心に18名、ACE (ASEAN Centre for Energy) から6名の合計24名が、またECCJからは9名が参加しました。
3. セミナー概要：
  - (1) 開会挨拶：AJEEP Scheme 4の開始にあたり、METI, ECCJ, ACE (ASEAN Centre for Energy) より挨拶をいただきました。
  - (2) AJEEP Scheme 4とSAEMASの概要と方向性につきECCJとACEより説明し参加者と共有しました。
  - (3) ASEAN各国より自国でのエネルギー管理士制度と同研修プログラムを詳しく紹介すると共に、ACEからはAEMASの内容を、ECCJからはAJEEP TOTの研修プログラムを紹介し参加者と共有しました。
  - (4) またCommon Standard Moduleやその上位にあるAdvanced Moduleの考え方・構成案と今後数回予定される中間WSの議題案も共有しました。
  - (5) 次の中間WSは12月中旬としました。

\* ECAP : Energy Conservation Workshop under AJEEP (ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership)  
ASEAN-日本エネルギー効率パートナーシップのもとに実施される受入研修